

## 2025年度第2回町田駅周辺帰宅困難者対策協議会 議事要旨

日時	2026年1月14日（水） 13時30分～15時00分
場所	町田市庁舎10階 会議室10-2、10-3、10-4、10-5
出席者 (敬称略)	<p>■会長 町田市 防災安全部長 大貫 一夫</p> <p>■委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田急電鉄(株)町田駅（代理） 副駅長 大谷 喜則</li> <li>・東日本旅客鉄道(株)町田駅（代理） 副長 藤原 美佳</li> <li>・神奈川中央交通(株)町田営業所（代理） 副所長 久家 裕介</li> <li>・（一社）東京ハイヤー・タクシー協会 三多摩支部 町田地区会 山崎 龍男</li> <li>・町田市町内会・自治会連合会（代理） 会長 平本 勝哉</li> <li>・警視庁町田警察署 警備課 警備課長 名地 健二</li> <li>・町田消防署 警防課 災害対策調整担当課長 佐藤 雄輝</li> <li>・神奈川県相模原南警察署 警備課 警備課長 丸田 耕三</li> <li>・相模原市 都市建設局まちづくり推進部交通政策課 課長 長澤 孝</li> <li>・専修学校 河合塾 河合塾町田校 校舎長 高見 大樹</li> <li>・野村不動産ライフ&amp;スポーツ(株) メガロス町田 支配人 勇上 良輔</li> <li>・町田商工会議所 総務部 副部長 齋藤 大典</li> <li>・(株)東急百貨店 町田東急ツインズ 営業推進マネジャー 滝本 秀明</li> <li>・(株)ユニカ 町田ジョルナ（代理） 商業施設運営部 運営管理課 課長 岡部 直人</li> <li>・(株)小田急百貨店 小田急百貨店町田店 店舗政策・運営部マネジャー 山本 薫</li> <li>・(株)ザイマックス ミーナ町田（代理） 総合不動産サービス推進事業部 商業施設マネジメント部 運営チーム マグラー 滋英</li> <li>・(株)株式会社ファーストリテイリング グローバル出店開発部 リテールプロパティチーム 小島 拓海</li> <li>・町田市 財務部財政課（代理） 担当課長 松井 紘司</li> <li>・町田市 財務部契約課長 佐々木 啓</li> <li>・町田市 財務部市民税課長 清水 鉄夫</li> <li>・町田市 市民部市民総務課長 中坪 裕一</li> <li>・町田市 文化スポーツ振興部文化振興課長 山田 雄介</li> <li>・町田市 経済観光部産業政策課長 村上 和久</li> <li>・町田市 生涯学習センター長 川瀬 康二</li> <li>・町田市 保健予防課母子保健担当課長 山形 悠介</li> <li>・町田市 町田市立図書館長 中嶋 真</li> <li>・町田市 市民部市民総務課長 中坪 裕一</li> <li>・町田市 子ども生活部児童青少年課長 島崎 翔</li> <li>・町田市 町田市民文学館長 羽生 謙五</li> <li>・町田市 地域福祉部福祉総務課 福祉総務課長 金子 和彦</li> </ul> <p>(欠席委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市危機管理局（防災計画担当） 担当課長 関口 康之</li> <li>・相模原市危機管理局（防災対策担当） 担当課長 滝口 明子</li> <li>・相模原市南区役所地域振興課 課長 並木 重人</li> <li>・(株)レンブラントホテルマネジメント レンブラントホテル東京町田 営業部セールス課支配人 山本 貴央</li> <li>・(株)丸井 町田マルイ・町田モディ 施設管理担当部長 石川 雅道</li> <li>・(株)ルミネ ルミネ町田店 総務部長 佐藤 正志</li> </ul> <p>(欠席オブザーバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市町内会・自治会連合会 町田第2地区 会長 中 一登</li> </ul>

■ 事務局

町田市防災安全部防災課

防災課長 宮坂 担当課長 佐藤

担当係長 清水 担当係長 西本

主事 釵持 主事 西村 主事 荒井 主事 吉田

## 1. 開会

- 事務局開会

## 2. 挨拶

- 町田市防災部長 大貫 一夫

- ・ 昨年7月に開催した2025年度第1回目の協議会以降も、国内外で様々な災害が発生している。また、カムチャツカ半島地震の関係では、多くの帰宅困難者の方たちが滞留していた。
- ・ 40万から50万人が毎日往来する町田駅周辺は、帰宅困難に見舞われる方が非常に多く、そういった場合に皆様のお力を借りながらどのように対策をすればいいのかということを中心に今回の協議会で意見交換をさせていただきたい。
- ・ 今回の議題では、「町田駅周辺地域エリア防災計画」の付議の他に、帰宅困難者対策訓練の実施報告を予定している。今回の実施報告を踏まえて、来年度は大規模な訓練も想定しており、その際は皆様のご協力をお願いしたい。

<各委員による自己紹介>

## 3. 議題

### 「町田駅周辺地域エリア防災計画（2025年度改定）」（案）について

- 事務局説明  
(資料1、別紙1、別紙2の説明)

<意見・質疑>

- 【(株)小田急百貨店 小田急百貨店町田店 店舗政策・運営部マネジャー 山本 薫】

小田急百貨店は半年に1回「防火・防災管理協議会」を開催している。協議会当日は、町田駅様と小田急百貨店、協力会社の警備会社、周辺テナントの方々をお招きして、小田急百貨店での館内での災害があったときの訓練を行っている。その後、協議会で訓練の振り返りや関係各所の皆様がどのような対策を取るのかという話し合いをしている。

昨年11月に協議会があり、大規模震災が発生した際に、小田急百貨店と小田急町田駅でお客様や利用者様をどのようにご案内するのかを考えたときに、駅のコンコースとカリヨン広場を1つの待機場所として候補に挙げている。待機場所まで従業員が誘導して、そこから市職員が引き継ぐなどの受け渡しの方法ができないかご検討いただきたい。

→ 【会長 大貫部長】

駅周辺に滞留者が発生する際には、市の財務対策部の職員が駅周辺で各一時滞在施設に誘導していくことになる。今回、一時滞在施設案内マップ（別紙1）を作成し、一旦は小田急電鉄様やJR町田駅様、デパートの皆さんにこのマップを持っておいていただき、マップを滞留者に渡していただきながら、案内をお願いしたい。

- 【警視庁町田警察署 警備課 警備課長 名地 健二】

発災時に一番恐れるのは、雑踏事故になること。

啓発としては、とにかく1つに集中しないで分散をしたい。震災時、間違いなく交番に人が殺到してくると思うが、大震災のときは、自分たちの受け持ちや街の状況を見に行かなければならず、そのときに一斉に人が来ても、地理案内ができる状況にないと思うので、マップを使って分散避難してもらう案内が現実的だと思う。

○【小田急電鉄(株)町田駅（代理）町田駅副駅長 大谷 喜則】

発災時、夜だったら街灯に電気がなければ行けないので、マップをお渡しするのは当然だが、夜でも待機場所から一番近い一時滞在施設までの道すがら拠点での蛍光塗料などがあれば分かりやすいと感じた。

誰かが行けばその人についていくというのが人間の心理なので、最初の先頭の人を案内する人だけでもいれば、その人の後に続くのが人の流れとして自然なのかと考えている。

○【東日本旅客鉄道(株)町田駅（代理）副長 藤原 美佳】

JRが以前、大船駅で電化柱が倒壊しお客様を誘導した際に、夏祭りで売っているような蛍光のもの置いておき、そちらに沿って行ってくださいという誘導ができるのではないかとという振り返りをしており、そういったものがあればお客様が行きやすいのではないと思う。

○【(株)東急百貨店 町田東急ツインズ 営業推進マネジャー 滝本 秀明】

東日本大震災が発生した当時、東急百貨店は会社判断でお客様に一晚滞在してもらい、軽食をお出した。発災時は急場の対応が求められると思われるので、事前にどれだけ帰宅困難者の受け入れができるのかというのは非常に重要だと思う。

○【相模原市 都市建設局まちづくり推進部交通政策課 課長 長澤 孝】

課題提起ですが、今までは、南口側にラポール千寿閣やボウリングセンターがありましたが、現状、南口側に一時滞在施設がありません。今後、協力してもらう施設を見つけるのか、南口側には施設がないということを分かりやすく伝えるのかというのは意見として述べさせていただきたい。

→【事務局】

今回の改定にあたって、南側の施設の貸し出しのご協力がすぐにはできなかつた事情がある。ただ、南側にもあった方がいいというのは市の方も認識しており、引き続きそういった部分で協力いただけたところがあれば、マップなどに記載させていただき、皆様とも共有していければと思う。

併せて、小田急さまのご意見については、財務対策部と合同で対応している部分もあるため、一度持ち帰らせていただきたい。

<審議>

⇒異議なしのため承認

## 4. 報告

### 2025年度町田駅周辺帰宅困難者対策訓練の実施報告

- 事務局説明  
(資料2の説明)

<意見・質疑>

○【町田市 財務部市民税課長 清水 鉄夫】

実際、私がやってみて感じたこととしては、こういった訓練は必要だということ。今回は訓練をすることが目的になりがちなものであったというのが正直な感想である。実際のところ対応できるかを考えた際に、非常に不安が残るものであった。

職員たちもいくつかの想定の中で対応したが、反省点として実動を踏まえて本当に動けるのかというところはいくつか課題が見えたのかと思う。

○【事務局】

今回の訓練は、実動での訓練が7年ぶりということであり、こういったことが課題で挙げられるかをまず動いて確認するというのが一つの課題であった。今回の訓練としては想定を事前に開示して行いました。

引き続き、このような訓練を色々な想定を加えながら行っていきたいと考えている。

○【町田消防署 警防課 災害対策調整担当課長 佐藤 雄輝】

今回の実動の訓練でキタコン DX は使用したのか。また、システムについて、LINE を開いたときに、一時滞在施設までの道案内ができる機能はあるのか。

→【事務局】

1 点目として、実際の訓練の動きの中では、キタコン DX は使用していない。訓練終了後に、財務対策部と一緒にシステムを触ってみようということで、システム操作を実施しました。

2 点目として、キタコン DX は LINE で友達登録をして、位置情報をオンにしていると、現在地周辺の一時滞在施設の中で開設している施設が表示され、そこまでの道順が分かるというものになっている。

## 5. 情報共有

### 一時滞在施設開設・運営モデルマニュアルの作成について

○事務局説明（資料なし）

<意見・質疑>

○【専修学校 河合塾 河合塾町田校 校舎長 高見 大樹】

このマップだけだと、入口がわからず、人が線路沿いに歩いて行って河合塾町田校の入口がないという状況になってしまうかと思うので、そのあたりをご留意いただきたい。

また、帰宅困難者自身が自分で動けるように、マップの裏面にキタコン DX などの情報を載せるなどもよろしいかと思う。

→【事務局】

マップの裏面に LINE の QR コードなどを記載することは可能。また、一斉帰宅の抑制方針などの情報を記載し、災害時に帰宅困難者自身で一時滞在施設に行けるようにすることは検討させていただく。

○【町田市 地域福祉部福祉総務課 福祉総務課長 金子 和彦】

帰宅困難者の中には、車椅子の方や耳が聞こえない方、目の見えない方などがいると思うが、特に車椅子やベビーカーの方については、何か施設のところに車椅子マークがあれば、車椅子の方もすぐに行けるといえるのが分かるので、マークで表示したほうが良いと思う。

○【町田市 町田市民文学館長 羽生 謙五】

まず、マップの市民文学館の位置を訂正していただきたい。また、町田市民フォーラムの「町」が抜けている。

さらに、わかりづらい建物だけでも建物の写真や目立つ看板の部分の写真などが入ると安心かなと思う。

市民文学館が 2026 年度から 2027 年度まで大規模改修で休館に入るので、今後の課題として、改修工事等の情報などを情報共有するというのは大切であると思った。

○【小田急電鉄(株)町田駅（代理）町田駅副駅長 大谷 喜則】

先程、車椅子のサインを入れ込むお話をしていたが、例えば、24 時間受入れ可能な施設だったら 24 という数字を入れておくなど、サインでわかるものを入れておくのは良いと思う。

→【事務局】

本日、個別に頂いたご意見を反映できているか確認させていただき、その内容を反映したものを改めて展開させていただきたい。

○【町田市町内会・自治会連合会（代理）会長 平本 勝哉】

町内会・自治会としては区長会の自主防災隊や役員が対応するのは難しいように思う。

また、住民と帰宅困難者が混在してしまうのも心配。

最後に、協議会の委員の中に、商店街関係が見受けられないのが気になっている。

○【(一社) 東京ハイヤー・タクシー協会 三多摩支部 町田地区会 山崎 龍男】

東日本大震災当時は、帰宅困難の方がかなり多く、国道を何時間もかけて歩いて帰り、道路の渋滞も激しいものがあった。実際にお客様を乗せて運行したが、30 分かかるところを 4 時間 5 時間かけて運行した。

実際にそういった状況になったときに、ほとんど輸送ができず、人を輸送するのが困難ではないかと思う。

→【事務局】

次回の 2026 年度町田駅帰宅困難者対策協議会は、今年の夏頃に開催予定。

時期が近づいたら、またご連絡をさせていただく。

## 6. 閉会